

令和4年度 第4回 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会 会議録

会議概要	
日 時	令和5年3月22日(水曜日)午後6時30分から午後7時15分まで
場 所	旭川市春光台公民館講座室
出席者	<p>委員(15名, 50音順)</p> <p>伊藤委員, 伊林委員, 上森委員, 大久保委員, 小原委員, 菊池委員 高橋委員, 竹内委員, 玉井委員, 早坂委員, 水野委員, 横山委員</p> <p>(欠席者: 福屋委員, 宮上委員, 山本委員)</p> <p>事務局 春光台公民館: 日比野館長, 藤村専門指導員, 高橋事務 旭川市地域まちづくり課: 成田課長, 木下主査</p>
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1: 春光台・鷹の巣地域令和4年度活動報告
	資料2: 春光台畑づくりプロジェクト報告
	資料3: 春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラム
	資料4:
	資料5:
	資料6:
	資料7:
	資料8:
	資料9:
	その他配付資料 ○防災心得

議事の内容

1 春光台・鷹の巣地域令和4年度活動報告

【事務局】

資料1：春光台・鷹の巣地域令和4年度の活動(包括型補助金モデル事業)について報告

- 「子ども支援」事業については、事業を中止したので収支決算についても0円ということで報告をいたします。
- 「地域防災心得改定」事業については、2回の実行委員会を開催し、別紙防災心得について改訂作業を進めている。今年度は簡易改訂版を発行し、春光台地域の公共施設にて配布した。
- この事業については、次年度までに完成させて完全版の「防災心得」を全家庭に配布する予定であるが、掲載内容について間違いや不備な点などがあれば、事務局に連絡をいただきたい。
- 「地域防災心得改定」事業の収支決算については、心得の印刷費と会議のための連絡通信費(郵券代金)として61,580円を補助金から支出した。
- 「災害時避難要支援者の避難実施訓練」事業については、コロナの状況から最終的に中止となってしまったが、収支決算については、消耗印刷費、通信運搬費、使用料及び賃借料として補助金から23,682円を支出した。
- 包括型補助金モデル事業として、旭川市からいただいた400,000円に対して85,262円を支出したので、残金314,738円を旭川市に返金した。

【会長】

- 防災心得のP7・8に記載されている避難所とその収容人員、避難所に比較的近い町内会・自治会のページが修正されている。

【会長】

- 令和5年度に「地域防災心得」を春光台・鷹の巣地域の全家庭に配布するためにはどれぐらいの費用が必要になるのか。

【事務局】

- 印刷費用として200,000円程度の費用がかかると考えているが、現在の物価高を考慮するともう少し費用がかかるかもしれない。

【会長】

- 「地域防災心得」の内容について訂正箇所などがあれば、事務局に連絡をいただきたい。

2 春光台畑づくりプロジェクトについて報告

【委員】

資料2：春光台畑づくりプロジェクトについて報告

- 「春光台畑づくりプロジェクト」の実行委員会を立ち上げ、畑づくりを中心とした活動を始めた。
- 春光台地域の農業経験者、地域の子どもと親で、春から秋までの活動を通じて収穫までの世話や食べ物大切さを世代間交流を通して学びながら、春光台の歴史や遺跡などにも触れさせながら、子どもたちの郷土愛を育むことを目的に活動を行っている。
- 畑おこしや石拾い、肥料の散布などを行い、苗の植え付け、草取りなどの活動を行ってきた。
- 畦づくりや草取り、苗の間引きなどを行い、高台小学校の先生方にもお手伝いをいただいた。
- 畑づくりの活動を通して、農作物を育てることの大変さや大切さについて学んでもらえたのではないかと考えている。

○今後の課題としては、より多くの方々に参加をしてもらうことができるようにすること、地域の町内会との連携やフラワーロードとの関係でお手伝いなどができるようになればよいと考えている。

○収支決算については、補助金120,000円に対して58,835円を支出し、61,165円を旭川市に返金している。

【委員】

○畑の広さはどの程度でどれぐらいに人が参加できるのか。

【委員】

○イベントなどを行う際には人数制限などが必要かもしれないが、普段の活動については制限を設ける必要がないと考えている。

○畑の広さは103坪である。

○普段は、畑の隣に住んでいる方が畑の状況を見てくれている。

○10数種類の野菜を植えており、参加者で連絡を取りながら管理を行っている。

3 令和5年度春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラムの改訂について

【事務局：旭川市地域まちづくり課】

資料3：令和5年度春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラムの改訂について説明

○前回の会議で皆様からいただいたご意見を反映したものを掲載しており、黒く塗りつぶした部分が訂正されたところである。

○P2の地域の現状と課題解決のための取組・市への要望等の項目の単身高齢者世帯、要支援者世帯の孤立対策、除雪対策の項目に災害時避難要支援者の避難実施訓練を追加し、実施主体に多世代ふれあい交流会実行委員会を加えた。

○P2で、昨年度までは「地域と公民館が連携した通学合宿事業の開催」と記載されていた部分を「地域と学校が連携した通学合宿事業の開催」に訂正した。

○P3の「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称公募実行委員会と記載されているところに昨年までは「文学の小径友の会」という記載があったが、「文学の小径友の会」が解散されたので削除している。

○P4・5の地域の安心・安全の項目で、今年度から「災害時避難要支援者の避難実施訓練」事業が加わったので、実施主体に多世代ふれあい交流実行委員会、実施状況にR4～の項目を追加した。

○P4下段の「地域の歴史や自然環境の学習」の項目の実施主体に春光台畑づくりプロジェクト、実施状況にR4～の項目を追加した。

○P6の「防災心得の作成・配布」の項目の実施年度を「H25」から「H25～」に変更した。

○P6の「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称公募及び目印の作成事業が令和2年度で終了したので、過去の取組の中に追加した。

○「災害時避難要支援者の避難実施訓練事業」が令和4年度から始まったので、項目に追加した。